

Concept

『家事シェア』で

家族が居心地の良い住まいに。

食事や洗濯はママ、おふろ掃除やゴミ出しはパパと家事を分担する家庭が多いと思いますが、これからは、家事は分担ではなくシェア。その発想は「居心地の良い住まいとは何か」「家族みんながハッピーになれる住まいとは何か」を追求して出た答え。家事は家族でやる“家族事”。家族で共有し、みんなが主体的に動くようになると、ママだけがいつも忙しという状況が改善されます。気持ちの負担も軽減し、自然と笑顔に……。そのための住まいの環境づくりをハイブリッドホームがお手伝いします。

01 自分のことは自分でできる仕組み



川崎市M様

使ったモノを元の場所にしまう、身の回りのことをできるだけ自分でできるようになるのが家事シェアの第一歩。適材適所の収納計画が大切です。

玄関奥に靴を履いたまま入れるシューズクロークを設けました。靴やコート・傘等外で使うものを帰宅時に一気に収納。その横には手洗いコーナーを設置。帰宅後すぐに手洗い・うがいができるプランにしました。



町田市S様

リビングの片隅に造った小上がりのキッズスペース。下部は、使ったモノがパツとしまえる引き出し収納になっています。

02 スムーズに家事ができる工夫

道具が分散していたり、やり方がわからなかったり、動線が悪かったりすると、家事は面倒になってしまいがち。作業工程を考えた間取りや設備の見直しが大切です。

憧れのランドリールーム。洗面・脱衣・クローゼットと動線をつなげることで、家事の時間短縮と誰もがプロセスを把握でき、作業協力しやすくなります。



文京区I様

Point

03 みんなが自然に参加できる環境

目的ごとにスペースを区切るのではなく、オープンまたは回遊できる間取りにすることで「ついて家事」「ながら家事」が可能に。無理なく家事に参加でき、習慣化できるように生活スタイルに合わせた計画が大切です。



神奈川県T様

開放感があり、コミュニケーションがとりやすいオープンキッチン。両側に人が立てるので、自然とみんなが集まり、一緒に作業することができます。



町田市K様

家事シェアで生まれた時間をどう使う？

“Free time”

家事シェアで生まれた時間をどう使いますか？

『一人の時間を楽しみたい』・『家族と過ごす時間を充実させたい』

『地域の人達とのコミュニケーションの時間を楽しみたい』

それぞれのスタイルにあった住まいづくりを考えます。

ソーイングスペース

自由になった合間の時間に気軽にできるように、出窓の部分に作業カウンターを造作しました。家族が喜ぶ顔を想像しながら作品を作っています。



町田市H様

キッチンガーデン

限られたスペースでも、工夫次第で使える・楽しめる庭に生まれ変わります。お花と家庭菜園を楽しみたいO様ご夫妻のために花壇と畑スペースを造り石張り・レンガ・左官・化粧砂利と様々な素材を組み合わせて、バリ風ガーデンに仕上げました。



横浜市O様

ギャラリースペース

趣味に没頭できる時間が出来ると、作業スペースの充実はもちろん作品を飾る空間がほしくなります。白い壁に無垢のフローリング、作品が栄えるような内装にリフォームし、使わなくなった和室を半外のデッキスペースにしました。季節の良い時期には訪れたお客様との庭を観ながらの会話が弾み充実した時間を過ごせるようになりました。



川崎市I様